

## かな川水辺の楽校で遊びながら学ぼう

かな川水辺の楽校運営協議会 小西浩司

### 1. かな川水辺の楽校とは

「かな川水辺の楽校」は、地域の方々が、安全に楽しく神流川の自然に触れあう自然体験・環境学習の場として、藤岡市本郷の神流川に国土交通省が整備した施設である。整備にあたっては地域の市民団体、教育関係者、藤岡市、河川管理者で構成される「かな川水辺の楽校協議会」で整備計画が策定された。そして平成20年度から整備工事がスタートし、22年7月5日に開校式を迎えた。



図1 かな川水辺の楽校概略図

### 2. かな川水辺の楽校運営協議会の活動

かな川水辺の楽校は、開校前の平成22年4月に設立された「かな川水辺の楽校運営協議会」を中心に利活用を図っている。

#### (1) 公開講座

かな川水辺の楽校運営協議会では、二ヶ月毎に現地で定例会を行い、動植物や施設の状態等を確認し、必要があれば国交省や藤岡市と対応を協議しているが、昨年からは定例会に合わせて協議会員や一般市民を対象とした公開講座を開催している(表1)。公開講座では、基本的に運営協議会員がそれぞれの得意分野を活かして講師を務めるが、テーマによっては外部の講師を依頼している。

表1 平成24年度開催の公開講座（予定を含む）

開催日	テーマ
5月27日	ビオトープについて
7月7日	危険な毒蛇について (外部講師)
8月4日	昆虫採集と標本の作り方
10月27日	植物観察と植物拓本づくり (外部講師)
1月27日	かな川水辺の楽校で見られる生き物
3月2日	野鳥観察会 (外部講師)

(2) 地元児童を対象とした学習支援等

かな川水辺の楽校の設置目的が、“地域の方々が、安全に楽しく神流川の自然に触れあう自然体験・環境学習の場”であるため、運営協議会では児童の学習活動等への協力を行っている。

今年度の主な取り組みとしては、かな川水辺の楽校に生息するニホンマムシによる事故を防止するため、児童や保護者を対象とした毒蛇に関する学習会を藤岡市内の小学校で開催した。また、8月には「かな川水辺の楽校楽しく学ぶ観察教室」を開催し、水辺の楽校の水生生物や陸上昆虫の採集、観察を行った。

この他に、運営協議会員がネットを活用し、イベントの紹介や水辺の楽校で見られる生物図鑑を作成し、児童や市民の学習を支援している。

かな川水辺の楽校便り <http://kawagera.net/rakukou/rakukouindex.html>

かな川水辺の楽校 生き物図鑑 <http://blog.goo.ne.jp/kan-mizube>

3. かな川水辺の楽校で注目される動植物

かな川水辺の楽校内ではこれまでに県のレッドリストに掲載されている種も確認されている（表2）。動物では、絶滅危惧Ⅱ類に指定されているものが1種、準絶滅危惧が5種、植物では準絶滅危惧が3種である。

表2 かな川水辺の楽校に生息する県レッドリスト記載種

	和名	科名	評価
魚類	ギバチ	ギギ科	絶滅危惧Ⅱ類
	シマドジョウ	ドジョウ科	準絶滅危惧
	カジカ	カジカ科	準絶滅危惧
昆虫類	アオハダトンボ	カワトンボ科	準絶滅危惧
	カワラバタ	バタ科	準絶滅危惧
甲殻類	ヌカエビ	ヌマエビ科	準絶滅危惧
植物	カワヂシャ	ゴマノハグサ科	準絶滅危惧
	ミコシガヤ	カヤツリグサ科	準絶滅危惧
	ミゾコウジュ	シソ科	準絶滅危惧

また、水辺の楽校内には外来植物が多く生育しており、特にナヨクサフジの繁茂が目立つため、適宜、駆除を行っている。